

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

自治大学校にマネジメントコース研修生として派遣されてから、早いもので半年ほどとなりました。着任した頃は、新しい職場での業務に慣れることに必死でしたが、少し周りを見る余裕が出てきたように思います。

せっかく縁あって立川に住むことになったので、研修生からおすすめしていただいた老舗洋菓子店のフィナンシェを食べなければと思い、先日足を運んでみました。焼き立てのバターの香りにとっても癒されました。

こちらのお店は立川駅近辺に40年以上前からある洋菓子店で、おやつ時には行列ができると評判です。こうした「行列のできるお店」に空いている時間に行くことができるのも立川住まいの特権ですね。

私も並ばずに焼き立てフィナンシェをゲットすることができました。お持ち帰り用のものは2週間ほど日持ちするようなので、派遣元や御家族へのお土産にいかがでしょうか。



さて、私は現在、教務部で第1部課程第146期の担当をしています。自治大学校が用意する研修のうち、約4か月半にわたる長期間の研修課程になります。

研修課程の企画や運営など、派遣元自治体では経験したことのない業務が多く、先代のマネジメントコース研修生が残した「引継書」を頼りに試行錯誤する日々ですが、自治大学校の職員の皆様や他のマネジメントコース研修生に支えていただきながら、何とかここまでやっていくことができました。

第1部課程第146期の研修生はまもなく卒業式を迎えられます。研修が実りあるものとなるよう、課程担当として最後まで研修生の皆さまをしっかりとサポートできればと思っています。

10月からは、私自身が第147期生として、第1部課程の研修を受講する予定です。正直なところ、146期の研修生の方からの体験談を聞いたり事前課題の教材を目にしたりする中で、果たして自分が研修を完走できるのか、恐れおののいているところです。

とはいえ、今さら逃げるわけにもいかず、先輩である146期研修生の皆さまに続けるよう、これから受講する第147期の皆さまと切磋琢磨しながら研修に臨むとともに、残り半年となった自治大学校での生活を大切に過ごしていきたいと思います。